

いじめ防止基本方針

令和4年度

新潟市立山の下小学校



つろう 力を合わせ <あい> がいっぱい 山の下

- *認め合い・支え合い・高め合う 仲間の友情・思いやりがいっぱい
- *優しく包み・見守り・励ますような 家庭や地域の愛がいっぱい
- *かかわり合い・支え合い・みがき合い 共に成長し合う子どもがいっぱい



<いじめをつくらない組織と体制>

【いじめ防止サポート・チーム】

- ◇校長 *教頭 *生活指導主任
- *教務主任 *担任 *生活指導部 *養護教諭

- ・いじめ防止にかかわる基本方針及び基本施策の立案
- ・いじめの早期対応・解決のための情報交換及び支援体制の確立
- ・いじめ防止・対応のための外部機関との調整や連携

校内いじめ対応ミーティング

- *管理職 *担任等
- ※即時対応の内容の決定と実行

- ・いじめ事案への即時対応
- ・自傷行為や「死にたい」などのつぶやきへの即時対応

【重大事案が発生したとき、認知されたとき】

山の下小いじめ対策委員会

- *校内サポートチーム *愛育会(会長、副会長)
- *民生・児童委員 *保護司 *その他必要と認められる人

連携

中学校区いじめ防止
連絡協議会

- ・いじめの解決に向けた具体的な取組の検討
- ・いじめ解決に向けた調査や聴き取りなどの実施と対応の協議
- ・生活指導ファイルへの記録・保管
- ・「解消」の適切な判断
- ・保護者や地域との連絡・協力体制の確立
- ・市教委との連絡調整と指導事項の確認

<いじめを防止する学校としての取組>

<1>早期発見・初期対応のために…

□早期発見のための実態把握

- ・学校生活アンケート(年3回)の即日チェック、学年部内チェック
- ・ふれあいトーク(教育相談)の実施(年2回)
- ・アンケートを基にした小中の情報交換

□情報交換の場の設定

- ・生活指導ファイルを活用した記録の保管

<2>友だちとの豊かな人間関係を築くために…

□豊かな人間関係を築く活動

- ・キラリカードを用いた自他のよさを認め合う活動
- ・「思いやり」「相互理解」「公正・公平」を重点にした道徳授業の実施
- ・あいさつ運動の継続による「心が通うあいさつ」をする学校・学級づくりの推進

□保護者への啓発活動

- ・学校・学年だより、生活指導だよりによるお知らせや啓発活動
- ・保護者や地域との頻繁な情報交換の場の設定(年2回の個別懇談、電話・連絡帳等での連絡)

□山の下中学校区小中一貫教育の取組

- ・いじめ見逃しゼロスクール集会の実施(年2回)
- ・保護者向けアンケートの実施(年1回)



<いじめをつくらない教職員集団>

- ◇ 子どもに寄り添い、一人一人の子どもの姿や実態を見取り、適切な支援や働きかけを推進します。(日常の観察の重視・学校生活アンケート・ふれあいトークの実施)
- ◇ いじめを許さない・見逃さない姿勢をもち、いじめの未然防止・早期発見、対応に努めます。
- ◇ 教職員の人権意識向上のための研修(年2回)